

第13回 関東防災連絡会

1 日時

令和4年2月24日（木）14時から15時まで

2 場所

WEB会議システムによる開催

3 議事次第

別紙「議事次第」のとおり

4 開会挨拶（会長：関東地方整備局長）

関東防災連絡会は、平成23年3月の東日本大震災を契機に、首都直下地震等の大規模災害に際して、防災関係機関が連携し、災害対応を効果的に推進することを目的に設立された。現在、58機関から構成されており、災害対応において重要な役割を果たしてきた。

コロナ禍を契機とした社会変容の1つとして急速なデジタル化への対応が挙げられる。本連絡会においても、災害対応におけるデジタルトランスフォーメーションの推進に向けた情報収集及び共有に取り組んできた。

切迫性が指摘される首都直下地震等の大規模災害が発生することを前提に、平時から関係機関が一体となって防災・減災対策を講じる必要があり、円滑な連携に向け、多角的な視野で活発な議論を行ってまいりたい。

5 議題

(1) 令和3年度関東防災連絡会の取組について

資料1により、令和3年度関東防災連絡会の取組について事務局が説明

(2) 令和4年度の取組方針・スケジュール案について

資料2により、令和4年度の取組方針・スケジュール案について事務局が説明し、出席者の賛同により承認される。

《質疑・意見》

■ 陸上自衛隊東部方面総監部

首都直下地震の対応に関して、道路啓開計画である八方向作戦については、更なる具体化が必要であるため、関係機関と引き続き連携を図っていきたい。

首都直下地震発生時には、関東地方整備局に連絡幹部を派遣する。八方向作戦を実施する上で調整が必要になると認識しているので、今後も連携を図っていきたい。

■ 事務局（関東地方整備局）回答

発災時の連絡幹部派遣の受け入れ等については、承知した。今後も連携を図ってまいりたい。

(3) 令和4・5年度の会長・副会長について

資料3により、令和4年度から令和5年度（任期2年間）の会長・副会長について説明。会長に関東地方整備局長、副会長に関東運輸局長を再任することが、出席者の賛同により承認される。

6 報告事項

(1) 各機関からの報告

- ・ 資料4により、ISUT-SITE（SIP4D）について（国研）防災科学技術研究所から報告
- ・ 資料5により、令和3年度の防災に関する取組について（独）都市再生機構から報告
- ・ 資料6により、自然災害伝承碑の取組について国土地理院関東地方測量部から報告
- ・ 資料7により、令和3年度の取組について気象庁東京管区气象台から報告
- ・ 資料8により、さいたま市防災アプリ構築事業についてさいたま市から報告

(2) 事務局からの報告

- ・ 資料9により、雪害時の乗員保護支援体制の強化について関東地方整備局から報告
- ・ 資料10により、運輸防災マネジメントセミナー&運輸防災ワークショップについて関東運輸局から報告

7 閉会挨拶（副会長：関東運輸局長）

防災に関する様々な機関、役割、取組がある中、円滑に連絡調整や情報共有等を行い、効果的に災害対応を実施するためには、関係機関において、日頃から顔の見える関係を構築しておくことが重要である。

近年の自然災害は、激甚化、頻発化しているだけでなく、予測不可能な事態も度々発生している。

災害時、国民生活や経済活動への影響を最小化するためには、迅速な対応が求められる。

首都直下地震の切迫性が指摘される中、気候変動への影響等、災害を巡る状況が、更に厳しさを増すことが推測されることから、より一層の連携強化の御協力をお願いする。

以上